

Wri News Letter 27

NO

1977年1月20日発行・大阪市あべの区旭町2-12-2 WRI JAPAN

この号・友人知さへ、ぜひ回送、まわしよみを！

一般参加員の前で

天皇に死刑宣告口！

「富村順一」直接行動

一月二日午前十一時すぎ、宮城前は万余の参賀者の列が続いていた。その一般参賀の人波にまぎれて、えのかちゃん(二十)を抱いた富村さんの姿があった。十一時四十分、厳重警戒の眼と網をくぐりぬげ、富村さんは宮城東度長和殿のベランダ前に着いた。

一しゅん、富村さんはテレビカメラの台の上にあがり上り、えのかちゃんをおいだ。台上のえのかちゃんが手にしたのぼりがはらりとひろがった。

と、もう、富村さんは群衆の間を駆けぬげながら約三百枚のビラをまきちらして、天皇のま正面のベランダ下に立っていた。

「人民の名において天皇を死刑にする」大声にさげぶと警服をつめたビムが空中高く投げつけられた。三度三度、富村さんは天皇に死刑をさげんだ。

それからすばやく、テレビ画面へと駆けもど

って、しつかにえのかちゃんを抱いた。はじめて呆然とし、ようやくあわてふたのけた私服や皇宮警察がどおつと襲いかかっていた。

この間約十分。富村さんはえのかちゃんともども坂下門から丈の内署に連行されて、この事件は終わったのである。

人民の名に於て判決

富村氏がまいた約三百枚のビラの内容要旨は、「沖縄久米島々民虐殺は天皇の軍隊によつて行なわれ、戦犯天皇はその責任をまぬがれることはできない。久米島訴訟委員会を代表し、富村は人民大衆の前で天皇を人民裁判にかけ、ここで死刑の判決をいひ渡す。

日本は人の上に人を作ってきた。その張本人が天皇である。それが部落問題を永續させ無罪の石川一雄氏をツツチ上げ裁判で、合お獄中につまいでいる。天皇の五十回忌に際して石川氏は、天皇を死刑せよ、というメッセージを響せている。故にこの天皇に対する死刑判決は石川氏の判決でもある。

三里塚の多くの農民が、血を流し、多くの

二月末し二月中旬直接行動さまの印刷、折りがはります。求む応援をり。

。使用者切手(記念券)のものと高嶺(切符)のコレクシヨント協力せり。・

犠牲をしいられて来た。元をたどれば、これも天皇の三里塚御用牧場に蹄を落している。三里塚空港は、天皇をとりまく資本家、アジア侵略をぬらう帝國主義者の飛行場である。三里塚に對しても天皇は責任をまぬがれない。

この判決又は、久米島訴訟実行委員会、叩青委天皇弾劾委員会となっているが、天皇に反對するすべての人々の無言の同意がある。従つて、独断ではあつても、聞く筋の者、聖民、部落民、学生すべての人々の聞いであることを宣言する。冒村個人の単なる単独行動では決してない。

私たちはかねてから、天皇を直接人民裁判にかけようと思つていたが、その機会がなかった。

今日は、権力の嚴重な警備の隙をついて、直接、天皇に對して判決をいひ渡した。

久米島訴訟実行委員会はこの判決宣言を第一歩の足がかりとして

力強く前進する。一

このかちやんがもつたのほりに、三つの名がしるされていた。久米島訴訟閣事委、叩繩青年委、戦死天皇処刑実行委。

富村さんは丸ノ内署で約三時間取調べられたあと、何と五台のパトカーにまもられて住居へ送り帰された。

警察は、この事件を極秘裡に葬るべく画策したことは明らかである。三日東京タイムスが、一般参賀記事でわずかにふれたのみ、その他ほとんど報道されなかった。(久米島訴訟ニューズより)

事務所から

●ふうー正月あけの七日から直接行動3号のタイプ打ち。タイプにがたがきていて、一日二枚半がやつと。今度は二百ペジ位になりそう(内容は、それだけのネウチがあるものと思つたのでこの分だと出ま上るのが二月末?)

気が遠くなつてしまつヨ。まともなタイプがもう一台あれば……とタイプが悪いせいにして……

●るりー六年ぶりにカリを切った。ワク内にきっちりとし、昔おぼえたコツでかこうとするけど鉄筆が動いてくれない。よけいに力がいって、穴があいたり、曲つたり。これだけ書くのにちよ6時間。ところが……にが手の後記をかけと言われて……この行書くのにまる半日。発行の日が一日おくれました……

●こうー筆控告のその後はまだうんともすんとも音沙汰なし。べつにあわてることもないので、こちら音なしの構えです。

●米仏英カナタ伊オランダなどステッカーはりの各国での様子が続々到来。日本の天皇あてにも並輸出という手紙をみながら、宮内庁役人のせんたくぶりを想像してニヤニヤ。

●十五日、富村嶼一さんが面白い話を一ぱいもつてやってきた。又改めて直接行動3号予約、二冊千円テス。